

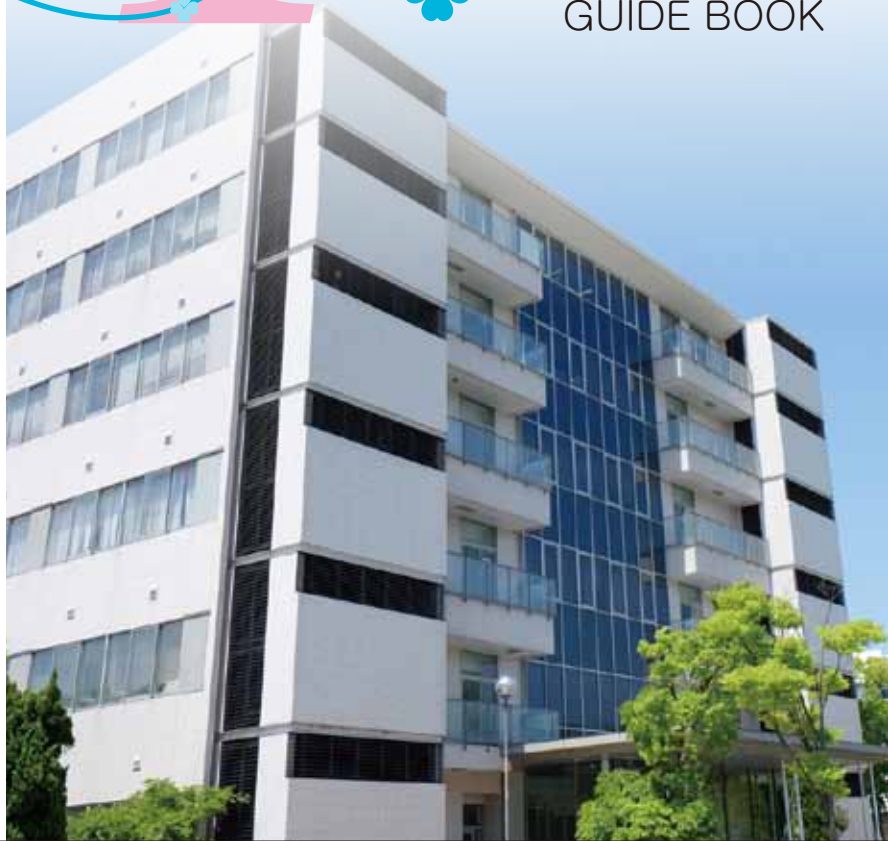


School of

三重大学医学部看護学科案内

MIE UNIVERSITY FACULTY OF MEDICINE

Nursing
GUIDE BOOK



助産師課程

妊娠・分娩・産褥・新生児・乳幼児の健康状態を診断・支援するために必要な知識・技術を学び、地域社会でも活躍できる豊かな人間性を備えた助産師を育成しています。3年次より助産師課程科目を選択履修後、選考試験を行い、合格者は4年次で講義・演習・実習等で学びを深めます。

病院勤務のみでなく、地域助産師として、地域にも貢献できる人材を育みます。助産の診断力、行動力を高め、将来的な地域での開業も視野に入れて、母子保健の一翼も担える自律した助産師の養成を目指しています。



保健師課程

広い視野と細部をみる視点をもち、周囲と協調しながら柔軟にものごとを考え、高い倫理観をもって地域の健康課題解決と住民の健康増進に誠実に取り組む意識と実践力を備えた保健師を育てます。時代と地域社会の要請に応えられる保健師を育てるため、選抜制を導入しています。2年次後期の選考試験に合格した学生は、3年次から保健師に関する専門科目を学び、4年次には保健所や保健センターなどで実習を行うことで、保健師としての意識や実践力を高めていきます。

また、保健師免許を取得した場合、衛生管理者の資格申請が可能となります。

養護教諭資格取得

指定科目（選択科目）を履修し、保健師免許を取得した場合、養護教諭二種の免許申請が可能となります。

学びのサポート

担任制度

各学年4名の教員が、持ち上がり制で入学から卒業まで担任します。学業から生活面まで個別で相談に応じるなど、きめ細かいサポートをします。担任は、1人ひとりの学生を把握し、学生が抱える課題を解決するのを支援し、より良いクラス作りを目指します。

医学部看護学科附属病院連携推進室

大学病院で看護管理を経験した教員が、卒業後の進路や就職、看護職として働くために知っておきたいこと、臨地実習での悩みなど、いろんな相談に応じます。

たとえば……

- 就職したい病院の情報が欲しい
- 交代制勤務ってどんな感じ？
- 休暇や超過勤務について知りたい。
- 就職後の教育体制はどうなっているの？
- 夜勤手当や給与はどれくらいなの？ など

学生なんでも相談室

学生なんでも相談室は、学生生活を送る上で困ったことや、分からないことが起きた時に気軽に相談できるところです。学業・友人関係・将来の進路・健康のこと・日常生活の問題・晩ご飯のおかずのことなど、なんでもどんな相談でも受け付けており、スタッフと一緒に解決策を考えていくことができます。相談内容の秘密は厳守します。

授業料免除

経済的理由、その他特別な事情により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる学生に対して、申請により授業料の全額または半額を免除する制度があります。

学生寄宿舍

◎男子寮（安濃津寮）◎女子寮（清和寮）◎国際女子寮（碧海寮）

大学院進学の特選抜制度

本学看護学科から大学院へストレートに進学できる、将来を見据えて高度な看護実践・研究へとつなげる進学ルートです。

医学部附属病院の奨学金 *詳細はHPをご覧ください

対象者：看護師・助産師を養成する学校・専門学校等に在学中の方（3年生以上）で、免許取得後に附属病院の看護師・助産師として勤務を希望する方

返還の免除：卒業後、看護師・助産師の免許を取得し、附属病院で採用され、一定期間勤務されたときは、奨学金の返還が免除となります。

三重県看護修学資金制度 *詳細はHPをご覧ください

対象者：看護系大学に在学（県内の大学に在学している方については、県外出身者に限る）し、将来、県内の医療機関等で、看護職員として就職する意思のある方

返還の免除：卒業年に当該養成課程の免許を取得し、直ちに引き続き指定機関で貸与期間+1年の期間、継続して看護職員の業務に従事した場合、奨学金の返還が免除となります。

その他の奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金の他に、地方公共団体および民間育英団体からも募集があります。

育成会による支援

育成会は、本学科の看護教育の発展を目指し、学生の福利厚生に寄与することを目的とした保護者の会です。看護学科、附属病院との関係も深く、充実した学生生活が送れるようにさまざまなサポートをしています。

医学部附属病院

実習は、隣接する高度先進医療を担う三重大学医学部附属病院を中心に、県下の関連機関で行われます。

附属病院は三重県唯一の特定機能病院であり、医師、看護師等の教育、研究における三重県の中心機関です。また、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、未来を拓く診療・研究を推進し、人間性豊かな優れた医療人を育成することを基本理念としています。

このように、実習環境の整った病院で、専門職として必要な知識や技術を学びます。



地域との連携

各教員が得意とする専門分野を活かしながら、地域と連携して、人々の健康維持・増進や医療職者の支援に取り組んでいます。

自治体や企業と一緒に取り組む、産学官連携事業も行われています。一例として、三重県南部沿岸部の過疎地域で生活する高齢者とその家族を対象とした介護予防活動、防災支援活動等を行っている分野もあります。

多職種連携教育

多職種連携教育では、看護学生と医学生が講義や実習を一緒に行います。特に実習では、同じ地域の病院や診療所で、同じ患者を受け持って、患者の回復に向けて医師の視点や看護の視点を共有して治療を考えます。時には、患者の自宅を訪問して退院後の生活を考えることもあります。

実習を通して、お互いの職種の役割を理解することによりチーム医療の大切さを学びます。



活発な国際交流

三重大学では現在タイやドイツの大学と大学間協定を締結しており、看護学科の学生も国際インターンシップ制度を活用して海外の大学における研修に参加しています。また、海外で行われる国際ジョイントセミナーに参加することや、学内における協定大学からの学生や教員との交流を通し、国際社会で幅広く活躍する能力を向上させる多くの機会があります。

主な活動及び学習の特徴

- 一部の海外研修、国際交流が科目の一環として単位認定される
- 海外研修に置ける事前学習で現地の文化・医療・看護の事情をアクティブラーニングで学ぶ
- 日本の文化や看護についての英語でのプレゼンテーション、海外事情のパネルディスカッション



4年間で学ぶカリキュラム このようなことを勉強して

看護は人間を理解することから始まります。総合大学ならではの教養教育科目を基盤に、幅広い専門科目が展開されています。

看護学の専門分野

基礎看護学

看護学の概念や理論体系、基礎的看護技術、健康教育について学習します。また、看護の基礎となる人間の心身の機構、人間の環境への適応能力及びそれらへの対処方法についても学習します。



看護の基礎を学ぶ

小児看護学

成長・発達を軸に、一人ひとりのこどもを身体・心理・社会的側面から捉える理論や方法を学び、病気や障害があってもこどもなりの健康が維持・増進される看護について、家族へのケアを含めて学習します。



子どもと家族への看護を学ぶ

成人看護学

成人期のライフサイクルに沿った身体的・精神的・社会的特性を捉え、急性期、慢性期にある対象と家族への看護行動・技術・理論について学習します。



成人の急性期・慢性期の看護を学ぶ

老年看護学

高齢者一人ひとりを全人的に理解し、健康な時期から療養・終末期までのあらゆる健康レベルに応じた看護を、QOL（生活の質）の向上を重視し、保健・医療・福祉の連携のもと体系的に学習します。



高齢者への看護を学ぶ

精神看護学

精神の健康に影響を与える要因や精神障害のある対象とその家族についての理解を深め、メンタルヘルスの保持増進・回復に向けた看護の理論・支援方法について学習します。



精神看護学を学ぶ

公衆衛生看護学

地域に生活する個人・家族・集団全てを対象とする看護学とその実践を学びます。健康レベルや地域の特性に応じた健康の維持増進、疾病や健康問題の発生予防と回復への支援を行うための理論と方法、保健情報の分析・活用方法を学習します。



公衆衛生看護学を学ぶ

母性看護学

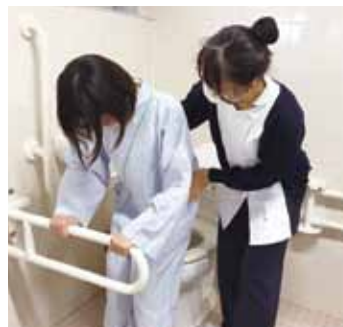
性と生殖の観点から、母性の特徴を身体的・心理社会的側面から理解し、女性のライフサイクル全般における女性とその家族のウェルネスを高めるための理論・看護ケアについて学習します。



母性看護学を学ぶ

在宅看護学

在宅で療養している様々な年代や疾患の人々やその家族を総合的に理解し、その人々が望んでいるその人らしい生活や生き方を支援するために必要な基本的知識・技術・態度を学習します。



在宅療養者への看護を学ぶ

1年生

共通教育

Liberal Arts

看護職は人を看る職業であり、その専門性だけでなく、幅広い知識と豊かな人間性が求められます。本学は、医・人文・教育・工・生物資源学部が同じキャンパス内にある総合大学であり、各学部の教員の講義を受講することができます。他学部の学生との交流によって、学びを深めることができます。アクティブ・ラーニング形式を用いた自律的・能動的学修力の育成、英語コミュニケーションや異文化理解などのグローバル化に対応できる人材の育成に力を入れています。

専門基礎教育

Professional Basic Education

1年生前期には、人体構造学・機能学、後期には病態生理学（免疫学、病理学、生化学）といった基礎医学を学びます。

地域基盤型実習

Community - Based Practicum

看護学科生と医学科生がグループをつくり、三重県内の29市町に分かれて実習を行います。

1年次には、地域の人々の生活や健康に対する認識を理解する対象理解基礎実習を行います。

臨床フィールド探求実習

Activity

1年生の冬には、初めて病院での実習を行います。病院ってどんな役割を果たしているの？看護職ってどんな仕事？隣接する附属病院の外来や病棟に行き見学をすることで、病院の機能や役割、看護師の仕事について学びます。

2年生

専門基礎教育から専門教育へ

Professional Education

1年生で学んだ共通教育や看護学の概念や理論体系、基礎的看護技術といった基礎教育を深め、さらに看護の専門性を極めていくための土台作りをします。臨床病態学や薬理学に関する講義を通して医学的知識も学びます。また、採血や注射・点滴などの講義・演習を通して、基本的な看護技術を修得します。さらに、さまざまな健康問題を解決するために、成人看護学、精神看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学といった専門分野についての学習が始まります。このようにさまざまな講義・演習を通して、看護を考える知識、技術を学び、看護職として必要な感性を育てます。

看護学基礎ゼミナール

Basic Seminar

研究の始まりとして、少人数で論文を批判的に読み込む基礎ゼミナールが開講されます。学生同志で議論を行い、自分の考えを深め、研究の素地を作ります。

2年次には、地域調査に基づく地域貢献活動についてアクションプランを計画し実践するヘルスプロモーション実習を行います。

三重大学医学部附属病院での実習

Clinical Practicse in Basic Nursing

2年生の夏には、隣接する附属病院で実習を行います。自分たちで、対象に合った看護ケアを考え、実践します。初めて洗髪や足浴を実施する時は、緊張して練習通りにはいかないこともありますが、教員や病棟看護師が一丸となってサポートします。病棟実習が終了する頃には、看護の魅力を再発見し、次の領域別の臨地実習への意欲が高まります。

3年生

各看護学領域の専門分野

Specialized Field

3年生に進級すると、前期は成人看護学、精神看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学という各領域の専門分野の勉強一色になります。2年生までの基礎的な知識の学習にプラスして、事例などを用いて行う学習や、実習に必要な技術演習などを行います。

看護学専門ゼミナール

Specialized Seminar

看護学専門ゼミナールでは、少人数教育によりこれまでの講義・演習・実習内容を基本的な知識とし、研究テーマを絞り、関連する先行研究から看護研究や研究論文についての理解を深めます。

臨地実習

Clinical Practice

3年生後期は領域別の臨地実習を行います。少人数のグループに分かれて、成人・精神・母性・小児・老年・在宅の各領域で、それぞれの看護の特徴を学び、深めていきます。これまでの知識を活かして自分が看護を実施します。実習場所は、附属病院や介護保険施設、訪問看護ステーションなどです。



4年生

看護マネジメント実習

Nursing Management Practicum

組織において実践されている様々なマネジメントについて学び、これまでの実習で学習した看護学を統合して自己の人間の成長と看護観をまとめ、看護専門職として必要な今後の継続的な学習の方向性を明確化します。

看護学統合実習

Clinical practice in Integrated Nursing

看護学統合実習は、対象となる人の療養環境を、病院等での生活と地域での生活を連動、発展させることを目指します。そのために他の職種と連携しながら協働的に実践し、患者擁護や患者の状況の代弁者として看護の専門性をより深く考えます。



卒業研究

Research for Graduation

看護研究では、科学的探求に関する基礎的な知識と方法、研究倫理を踏まえた姿勢、研究成果の表現力を身につけ、関心のある看護学分野における看護研究を行い、その成果をまとめます。

将来に向けて

進路説明会

3年生を対象に進路説明会を行い、就職および進学
のサポートをしています。

インターンシップ参加

3年生になると、インターンシップに参加し、看護現
場を体験することで、自分が将来働く職場を考えてい
きます。

国家試験受験

卒業後に看護職として働くために、毎年2月に看護
師国家試験を受けます。助産師、保健師を目指す人
は、さらにそれぞれの国家試験を受験します。看護学
科の学生はそれまでに模擬試験などを受けるなど、し
っかりと勉強して国家試験に臨みます。

チューター制

看護学科を卒業後、附属病院に就職した1年目の看
護師を対象として、看護学科教員が看護部や病棟と協
力しながら、心理面と学習面での安定した成長を支援
する体制を整えています。

卒業後の進路

●県内 ●県外

看護師

- 三重大学医学部附属病院
- 三重県立総合医療センター
- 三重県立こころの医療センター
- 三重病院
- 三重中央医療センター
- 伊勢赤十字病院
- 市立四日市病院
- 済生会松阪総合病院
- 鈴鹿中央総合病院
- 伊賀市立上野総合市民病院
- 名古屋大学医学部附属病院
- 名古屋市立大学病院
- 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
- 藤田医科大学病院
- トヨタ記念病院
- 京都大学医学部附属病院
- 大阪医科薬科大学病院
- 東京女子医科大学
- 浜松医科大学医学部附属病院
- 静岡県立こども病院
- 淀川キリスト教病院
- 日本医科大学付属病院

助産師

- 三重大学医学部附属病院
- 三重中央医療センター
- 名古屋大学医学部附属病院
- 名古屋市立大学病院
- 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
- 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
- 聖路加国際病院
- 埼玉医科大学病院

保健師

- 三重県
- 鈴鹿市
- 名張市
- 松阪市
- 多気町
- 志摩市
- 名古屋市
- いなべ市
- 津市
- 伊賀市
- 明和町
- 玉城町
- 愛知県
- 津島市

養護教諭

三重県の小学校・中学校・特別支援学校

進学先

- 三重大学大学院医学系研究科
- 岡山大学教育学部養護教諭特別科
- 和歌山県立医科大学助産学専攻科
- 浜松医科大学大学院医学系研究科(助産師養成コース)
- 名古屋市立大学大学院看護学研究科(助産学領域)

大学院医学系研究科 看護学専攻

博士前期課程

博士前期課程は、「専門知識・技術を備え科学的判断・論理的思考に基づく看護介入が
できる高度看護実践者、看護ケア・看護教育・看護システムの改善において指導性を発揮
できる看護専門職者を育成する」ことを目的としています。

履修方法によって、修士論文コース、高度実践看護師(専門看護師:CNS)コースの2
つがあります。専門看護師とは、特定の専門分野での卓越した看護実践能力を有する看
護師です。

- がん看護CNSコース**: 論理的思考・俯瞰的視点・研究マインドを持ち、がん患者さんとご家族の最良のQOLを支える看護を探究できるがん看護専門看護師の養成を目指しています。
- 老年看護CSNコース**: 地域で暮らす高齢者の健康維持・増進、認知症高齢者の看護、高齢者の終末期看護など、さまざまな健康状態にある高齢者への専門的な看護を実践できる老人看護専門看護師を養成しています。
- 精神看護CNSコース**: 精神障害者のリハビリを促進する看護、身体疾患により精神的な苦悩を抱える人の安寧を高める看護を実践できる精神専門看護師の養成を目指しています。
- 小児看護CNSコース**: 論理的思考・研究マインド・リーダーシップ・倫理的課題の調整力と自ら発信する力を備え、健康問題や重い障害のあるこどもが、どこにいてもどんなときもその子らしく生きることができる小児看護専門看護師の養成を目指しています。

博士後期課程

博士後期課程は、「他の学問領域等と協働しながら、看護学の専門分野における新知見を導き出し、独自性豊かで地域に役立つ看護学研究成果を生み出す「俯瞰的視野」を持った人材を育成し、かつ、優れた研究成果を世界に発信する」ことを目的としています。

2つの講座と7つの教育研究分野から構成され、看護学のより高度な教育・研究を実践できる科目を配置しています。

看護学専攻

基盤看護学講座

基礎看護学分野

精神看護学分野

公衆衛生・在宅看護学分野

生涯発達看護学講座

成人看護学分野

小児看護学分野

母性看護・助産学分野

老年看護学分野

長期履修制度

有職者には「長期履修」コースを設け、博士前期課程では修業年限3年間、博士後期課程では修業年限4年間として、標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)を超えて計画的に教育課程を履修できるよう、環境作りを努めています。

三重大学医学部看護学科 アドミッションポリシー (入学者受入の方針)

このような人を育てます

看護学科では、人間の誕生から死に至るまでの、様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう、Heart(こころ)・Head(専門知識)・Hand(専門技術)を伸ばす教育を通して、広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。そして、倫理観と責任感を備え、協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち、地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

このような人を求めます

看護学科では特に以下の人を求めます。

- 看護職者を目指すために必要な基礎学力を備え、論理的に物事を考えられる人。
- 人の健康に関心が強く、看護の分野で社会に貢献する意志をもっている人。
- 探求心と自立心をもって、主体的・協働的に課題に取り組める人。
- 相手の立場を理解し、柔軟に物事を考え、表現できる人。
- 国際的な視野をもち、地域の医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

こころ
Heart

3つのH

専門知識
Head

専門技術
Hand



三重大学医学・病院管理部学務課

〒514-8507 津市江戸橋2丁目174

TEL 059-231-5239

FAX 059-231-5090

三重大学医学部看護学科のホームページ

<https://www.medic.mie-u.ac.jp/nur/>



● 本学への交通案内

● 津駅から

1. 津駅東口バスのりば「4番」から
三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「東豊野」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車。)

2. 津駅からタクシーで約10分

● 江戸橋駅(三重大学前)から

1. 徒歩で約15分(近鉄電車「特急」は停車しません。バス停やタクシー乗り場がないため、基本的に徒歩で大学へお越しいただくことになります。)

● 津I.Cから約20分、芸濃I.Cから約25分